

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、18～25℃台を示し、やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり14トンの水揚げで、前週の4.7倍（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり18トンの水揚げで、前週の1.5倍（前年を上回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり17kgの水揚げで、前週の74%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり1.1トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり90kgの水揚げ。対馬東岸地区では、シイラなどが1日1統当たり337kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり134kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり14kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（11/3～11/8の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆周辺で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、荒天の為、山陰沖、山形沖で僅か操業。鳥取県西部（沖合船）では3日延25隻、総計1,799箱、1航海最高147箱、平均72箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～30入。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第5-23号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>